

教科	情報	科目	情報 I	単位数	2	年次	I 年次
使用教科書 (出版社)	情報 I Step Forward! (東京書籍)						
副教材等	ニュースステップアップ 情報 I 教科書傍用問題集 (東京書籍)						

1. 担当者から生徒へのメッセージ

情報社会を生きる私たちは、日々膨大な情報に囲まれ、その中から正確で信頼できる情報を見極め、活用する力が求められています。本授業では、情報モラルやセキュリティの基本から、データの活用、プログラミング的思考まで幅広く学びます。

単に知識を覚えるだけでなく、「なぜそうするのか」「どう活かせるのか」といった本質的な理解と探究心を大切にし、実社会で役立つ“情報活用能力”を身につけていきましょう。

2. 学習の到達目標

- 情報社会に主体的に参画するために必要な情報スキルと情報倫理を身につける。
- コンピュータやネットワークの基礎、データの活用について、技能の習得と理解の深化を図る。
- 情報を適切に収集・分析・表現する力を養い、課題解決に活用できる実践力を身につける。

3. 評価の観点と評価方法

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	情報社会やコンピュータ、データ活用に関する基本的な知識と技能を身につけているか。	課題を発見し、情報を整理・分析・活用する力や、論理的に考え表現する力を身につけているか。	授業や課題に積極的に取り組む姿勢があり、自らの学習を振り返り、改善しようとする態度があるか。
評 価 方 法	定期考査およびレポート課題などにより評価する。	定期考査およびレポート課題などにより評価する。	授業中の活動状況、課題提出状況、協働作業への参加態度等を総合的に評価する。

4. 学習の活動

学期	学習内容（単元・項目）
1 学期	・ 情報社会の特質と課題（第 1 章 01-08） ・ 情報と職業、メディアと表現（第 3 章 27-35） ・ 情報モラルとセキュリティの基礎
2 学期	・ 情報のデジタル化とコンピュータの仕組み（第 1 章 08-11） ・ ネットワークとデータ通信（第 2 章 12-19） ・ 情報技術の進展と社会変化（第 4 章 47-52）
3 学期	・ 表計算によるデータ処理と分析（第 2 章 19-26） ・ プログラミングによる問題解決（第 3 章 36-39） ・ 情報の収集・整理・発信（第 4 章 40-46）

5. 科学のもり (SSH プログラム) との関連

- | |
|---|
| <p>☒ 科学的な探究方法の習得と科学的な思考力の育成</p> <p>☐ 他者に対する表現力や他者との協働性の育成</p> <p>☐ 異文化理解の形成と国際的な視野の獲得</p> <p>☒ 文理や教科の枠を越えて転移可能な理解の形成</p> <p>☐ 自ら設定した目標をやり遂げようとする責任感の育成</p> <p>☐ 自らの成長を認知し、さらなる成長につなげる力の育成</p> |
|---|